

潤滑油製造体制の再構築スタート ～国内潤滑油業界トップの競争力実現に向けて～

記者各位

当社(社長:西尾進路)は、2004年10月5日に発表いたしました、「潤滑油製造体制の再構築計画」の一環として、2006年10月1日付で、当社の100%出資子会社であります新日本石油精製株式会社(社長:小沢 稔、港区、以下「新日精」と新日本石油加工株式会社(社長:副島正史、横浜市、以下「新日石加工」)を合併し、新日精を中心とした潤滑油製造体制をスタートいたしますのでお知らせいたします。

再構築計画は、潤滑油の製造拠点を集約化することで、潤滑油事業における製造・物流体制の効率化、更には製品の高度化を図り、収益力の向上を目指すものです。

当社グループは、7月に新日精横浜製油所に潤滑油・グリース製造設備を新設する等、新日石加工の新潟および東京工場閉鎖に伴う各所への製造移管を主に、製造拠点の集約化を進めてまいりました。

当社は、今回の再構築計画を遂行し、所期の目的である「国内潤滑油業界トップの競争力」を実現してまいります。

記

以上

潤滑油、グリースの10/1以降の製造体制

	潤滑油(キロリットル/年)	グリース(トン/年)
新日精 横浜製油所	213,000	4,000
〃 根岸製油所	161,000	—
〃 水島製油所	142,000	—
和歌山石油精製 海南	158,000	—
合 計	674,000	4,000